

# 令和7年産

# 良質米生産ごよみ

●JA福岡大城  
●大川市・久留米市・大木町  
●南筑後・久留米普及指導センター  
令和7年1月作成

◆農薬の登録内容は随時更新されますので使用する際は、包装容器や袋に記載されている有効期限および登録内容を確認して下さい

◆農薬使用基準の遵守

◆農薬飛散防止に努めましょう

◆麦ワラは、焼却せず全量すき込みましょう

◆田まわりを実施し、生育を把握しましょう

◆良質米生産のため施肥基準を守りましょう

◆登録内容を確認して下さい

月別	5		6		7		8		9		10			
旬別	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	
稲の一生	育苗準備		育苗期		活着期	有効分げつ期		無効分げつ期	幼穂形成期		出穂期	登熟期		成熟期
水管理			浅水		間断かん水		中干し	間断かん水		花水	間断かん水		落水期	
主な作業(ヒノヒカリ)	播種 150g/箱 170g/箱 (催芽粉)		基代か肥		田間除草剤散布 ジャンボタン対策	中干し (18~20本 株から開始)		穂病 害虫虫防除①	病虫防除②		病虫防除③	適期収穫		
病害虫防除基準	<p>元気づくし ●基本防除 ●補正防除</p> <p>●24時間種子浸漬 タチガレエースM液剤 5000倍 苗立枯病など 苗2000箱(水1000L当り)20000L</p> <p>●基本防除 ベンレート水和剤 10000倍 テクリートCフロアブル 2000倍 スミチオン乳剤 10000倍 (種粉10kg当り) 水200L当り20000L</p> <p>●補正防除 ベンレート水和剤 2000倍 スミチオン乳剤 10000倍 (種粉10kg当り) 水200L当り20000L</p> <p>【主な水田の雑草】 アゼガヤ アゼナ コウキヤガラ カヤツリガサ ヒメミソハギ キシュウズメノヒエ</p> <p>①(液) オーストラロタンモンカットエアー 10000倍 スタークル顆粒水溶剤 500倍 ウツカ類 3000倍(33%水1000L)</p> <p>②(粉) トライレボソ粉剤DL 4kg スタークル顆粒水溶剤 10000倍 スタークル顆粒水溶剤 2500倍 スタークル顆粒水溶剤 2500倍</p> <p>③(粉) スタークル粉剤DL 3kg スタークル顆粒水溶剤 20000倍(50%水1000L) スタークル顆粒水溶剤 30000倍(33%水1000L)</p> <p>【粒】 スクミン 1~4kg 【粒】 リンパー粒剤 3~4kg</p> <p>○田植後から中干しまで、間断かん水を心掛ける。 ○麦ワラをすき込んだ田はガスが湧きやすいため早く間断かん水・中干しに入る。 ○除草剤散布後7日間は落水かけ流しをしない。 ○高温障害軽減のため、6月20日以降の田植えを心掛ける(特にヒノヒカリは注意) ○元気づくしはイモチ病に弱いのでアンコール箱粒剤を施用する。 ○代かきは田植え日の3日前を目安に実施する。 ○基肥施用から7日以内に代かきする。 ○種子消毒剤の廃液は、水路には流さない。 ○元気づくしは、イモチ病予防のため、ベンレート水和剤を追加使用する。 ○種子浸漬の水は、毎日入れ替える。 ○麦ワラは、焼却せず全量すき込む。 ○土壌診断結果を基に土づくり対策(土改材の散布等)を行う。 ○土壌診断を実施する。 ○毎年種子更新を行う。 ★休閒田は早めに耕起しておく</p>													
注意事項	<p>●中干しは足跡がつかない程度の黒い状態で、ひびが入る程度にしっかりと干す。</p> <p>●気温の高い時は紋枯病に注意し、低い時にはイモチ病に注意する。 ○強風後3日間は葉が乾燥しやすいため灌水する。 ○台風や乾燥した強い風が吹く時は深水にしておく。 ○カメムシの発生源をなくす為、出穂14日前までに畦畔の除草を実施する。 ○穂肥の1回目は主茎の幼穂長が3~5mmの時に、2回目はその1週間後に施用する。</p>													

### 本田施肥 (10a当り) (kg)

品 種 名	土壌改良資材		穂 肥 NK7号		水稲基肥 一発肥料		
	オイスターミネラル	ミネラルG	ちくこのめくみ444	1回目	2回目	中稲一発	ハイLP800-E80
元 気 つ く し			30 大豆後15	8/4頃 15	8/10頃 10	35 大豆後25	-
ヒノヒカリ	100	100	30 大豆後15	8/9頃 20	-	35 大豆後25	-
ツクシホマレ			40 大豆後20	8/15頃 25	8/22頃 20	40 大豆後30	-

(注1) ちくこのめくみ444…N14%-P14%-K14%  
中 稲 一 発…N20%-P10%-K10%  
ハイLP800-E80…N28%-P10%-K10%  
N K 7 号…N14%-P0%-K17%

(注2) 元気づくしは施肥基準を厳守する(倒伏しやすいため)

#### ※麦ワラすき込みの注意点

- ①ワラは長めに切る
- ②耕うん(荒起こし)は早めの時期に通常より深く耕す
- ③ごく浅水で代かきする
- ④すき込み開始3年間は基肥10kg(一発肥料5kg)増肥する

### 初期(初中期一発)除草剤(10a当り)

除 草 剤 名	散 布 量	使 用 時 期	注 意 事 項
サラブレットKAI	1キ口粒剤 1kg フロアブル 500mL ジャンボ 10パック	移植時または移植直後~ノビエ2.5葉期 移植直後~ノビエ2.5葉期	・散布後3~4日後は常時灌水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。 ・散布時は、水の出入りを止め灌水状態均一に散布する。 ・粒剤・フロアブル剤:水深3~5cm ・ジャンボ剤・FG剤:水深5~6cm ・葉害防止のため、浅植え、浮き苗が生じないように代かき均平作業及び植え付けを丁寧に行う(田植え同時処理を行う場合は特に注意が必要)。
ラ オ ウ	1キ口粒剤 1kg フロアブル 500mL ジャンボ 10パック	移植時または移植直後~ノビエ2.5葉期 移植直後~ノビエ2.5葉期	・田植え同時除草剤処理を行う場合は、除草剤の拡散促進と葉害防止のため、田植え後速やかに入水する。 ・ジャンボは、コウキヤガラに効果が低い。 ・いぐさ・レンコンの隣接田での使用は十分に注意して下さい。
ジャ スタ	1キ口粒剤 1kg フロアブル 500mL ジャンボ 10パック	移植時または移植直後~ノビエ3.5葉期 移植後1日~ノビエ3.5葉期	
ガツントZ200FG	FG剤 200g	移植後3日~ノビエ3.5葉期	

※代かきから田植えまで4日以上期間が空く場合はデルカット乳剤(移植4日前まで)の植代時散布(500mL/10a)を検討する。

### 中・後期除草剤(10a当り)

適用雑草	除 草 剤 名	散 布 量	散 布 時 期	備 考
イネ科(ヒエ)	トドメMF1キ口粒剤	1kg	移植後14日~ノビエ5葉期	○収穫50日前まで ○落水散布
	トドメMF乳剤	200mL(25~100Lの水に希釈)	移植後14日~ノビエ7葉期	○収穫50日前まで ○落水散布または落水散布
	ワイドショット1キ口粒剤	1kg	移植後15日~ノビエ4葉期	○収穫45日前まで ○落水散布
イネ科(ヒエ) 広葉	ロイアント乳剤	200mL(25~100Lの水に希釈)	移植後20日~ノビエ5葉期	○収穫45日前まで ○落水またはごく浅く灌水して散布 ○クサナムに効果が高い
	トドメバスマF液剤	1000mL(70~100Lの水に希釈)	移植後15日~ノビエ6葉期	○収穫50日前まで ○落水散布
	レプラスジャンボ	10パック	移植後14日~ノビエ4葉期	○収穫60日前まで ○落水散布

- ### 「JA米」の生産基準
1. 生産資材の選択
    - 種子更新100%
    - 使用する肥料、農薬等の資材は、原則としてリストに記載されているもの
  2. 肥培管理及び除草、病害虫防除
    - 施肥基準及び農薬の安全使用基準の遵守
  3. 収穫、出荷
    - 適期収穫と麦粒の混入防止
  4. 生産履歴の記帳・点検
    - 栽培管理表に記入漏れや間違いがないかの確認
    - 栽培管理表は自己点検チェックシートと一緒に提出
  5. 分別出荷・表示及び不適合品
    - 要件を満たさない米は、JA米として扱われませんので注意しましょう

### 水稲(令和7年産) 作業日誌年間作業記録(JA米生産基準)

JA福岡大城

産地名 JA福岡大城 生産者名 ( ) 農事組合名 ( )  
集落営農組織名 ( ) 生産者コード ( ) 電話番号 ( )  
住 所 福岡県 ( ) 番地 ( )

項 目	品 種	作付面積	数 量	購入先	購入年月日
種子購入		a	kg	JA	月 日
			kg	JA	月 日
共同育苗購入		a	箱	JA	月 日
			箱	共同育苗・その他	月 日

播種月日	月 日	個人・共同・委託(委託先名: )
田植え時期	月 日	個人・共同・委託(委託先名: )
中干し期間	月 日	
出穂期	月 日	
収穫時期	月 日	個人・共同・委託(委託先名: )
秋耕時期	月 日	

項 目	品 名	使用量/10a	使用月日	備考
土壌改良剤	オイスターミネラル・ミネラルG・その他( )	kg	月 日	
元肥	ちくこのめくみ444・その他( )	kg	月 日	
穂肥(1回目)	NK7号	kg	月 日	
穂肥(2回目)	NK7号	kg	月 日	
一発肥料	中稲一発・ハイLP800-E80	kg	月 日	
種子消毒剤	テクリートCフロアブル	倍	月 日	
	スミチオン乳剤	倍	月 日	
育苗期剤	ベンレート水和剤	倍	月 日	
	タチガレエースM液剤	倍	月 日	
箱施肥剤	フェルテラセクサロン箱粒剤・アンコール箱粒剤	g	月 日	
除草剤(初期)	デルカット乳剤	mL	月 日	
	サラブレットKAI・ラオウ・ジャスタ	kg	月 日	
	サラブレットKAI・ラオウ・ジャスタ	mL	月 日	
	サラブレットKAI・ラオウ・ジャスタ	パック	月 日	
除草剤(中・後期)	ガツントZ200FG	g	月 日	
	トドメMF1キ口粒剤・トドメMF乳剤	kg・mL	月 日	
ジャンボタニシ対策	ワイドショット1キ口粒剤・ロイアント乳剤・レプラスジャンボ・トドメバスマF液剤	kg・mL・kg	月 日	
	スクミン	kg	月 日	
本田防除	リンパー粒剤	kg	月 日	
	オーストラロタンモンカット粉剤DL	kg	月 日	
	トライレボソ粉剤DL	kg	月 日	
	スタークル粉剤DL	kg	月 日	
	オーストラロタンモンカットエアー	倍	月 日	
	ブラシフロアブル	倍	月 日	
液	トレボンEW	倍	月 日	
	スタークル顆粒水溶剤	倍	月 日	
	スタークル豆つぶ	倍	月 日	
	ヘリ防除(1回目) (委託先名: )		月 日	
ヘリ防除(2回目) (委託先名: )		月 日		

※使用した品名に○印をつけて下さい。品名のない場合は空白欄に追加記入をして下さい。  
※提出はカントリー出荷時にお願い致します。 JA確認者 ( )

### 生産者自己点検チェックシート

記入日 月 日

集落営農組織名 ( ) 集落名 ( )  
氏名 ( )

JA米生産者用(令和7年産)

関連事項	チェック項目	結果(いずれかに○)
J A 米 の 要 件	1 「JA米の3つの要件」を知っていますか?	はい・いいえ
	2 ●銘柄が確認された種子による栽培。	はい・いいえ
	3 ●登録検査機関で受検されている。	はい・いいえ
契 約	4 JAからJA米の要件および生産基準について説明を受けましたか?	はい・いいえ
	5 出荷契約は結んでいますか?	はい・いいえ
種 子	6 種子(苗)の銘柄は確認しましたか?	はい・いいえ
	7 栽培履歴は全出荷米について正しく記帳し、記入漏れはないですか?	はい・いいえ
	8 ●使用した全ての農薬名、使用日、使用量が記帳されていますか?	はい・いいえ
	9 ●使用した全ての肥料名、土壌改良資材名、使用日、使用量は記帳されていますか?	はい・いいえ
記 帳 の 実 施	10 ●播種日、田植日、出穂日、収穫日が記帳されていますか?	はい・いいえ
	11 ●登録農薬を使用しましたか?	はい・いいえ
	12 ●農薬の使用基準を守りましたか?	はい・いいえ
異 品 種 混 入 の 防 止	13 育苗・栽培を通じて他の品種の混入は妨げましたか?	はい・いいえ
	14 ●種子は、他の品種名が区別できるようになっていましたか?	はい・いいえ
	15 ●苗(苗箱)は、他の品種名が区別できるようになっていましたか?	はい・いいえ
そ の 他	16 ●田植えの際に、他の品種の苗が混ざっていませんか?	はい・いいえ
	17 ●コンバインやフレコンは清掃しましたか?	はい・いいえ
備 考	18 麦ワラをすき込んでいますか?(麦作付者のみ)	はい・いいえ

※提出はカントリー出荷時にお願い致します。